

《中部》日射比例かん水技術を学ぼう！
～トマト専門部主催視察研修会が開催されました～

9月16日、花巻農協野菜部会トマト専門部主催による視察研修会が開催され、生産者19名が参加しました。本研修会は、部会生産者の栽培技術向上を目的として実施されたもので、普及センターが事業を活用して「日射比例かん水装置」の実証を行っている大玉トマト生産者のほ場見学と講習会の2部構成で行われました。

「日射比例かん水」は、日射センサーで測定した日射量の積算値に応じてかん水回数や1日のかん水量を自動調整する技術です。作物が必要とする水分量に合わせた効率的なかん水管理が可能となり、作物の水分ストレス軽減による、安定した生育と収量・品質向上が期待されます。また、かん水作業の省力化にもつながります。

ほ場見学では、農協からの販売実績報告後、普及センターから、日射比例かん水装置の仕組みや導入効果、環境変化に対応した今後の栽培管理等について説明しました。参加した生産者からは、日射比例かん水装置の設定方法や導入効果について多くの質問が寄せられ、技術に対する関心の高さがうかがえました。

普及センターでは、次年度も引き続き日射比例かん水技術の実証に取り組むこととしており、関係機関と連携しながら、生産者の所得向上と省力化の実現に取り組んでいきます。



実証ほ場見学の様子



日射比例かん水技術について学ぶ
参加者たち